



京都市立七条中学校
2021年(令和3年)11月10日

(内容紹介)

- ※ 京都の近代化を後押しした琵琶湖疏水の誕生秘話。
- ※ 日本一狭いホームがある嵯峨く京福電鉄
- ※ 0番があって1番がない!? 京都駅のホームのナゾ。
- ※ 古都に伝わる怖い話とミステリー。



歴史を動かす
舞台となった
千年の伝統を
誇る都の
文化を解明

京都府の推計人口
約256万7000人
(令和3年2月現在)
全国では13位。
男性より女性の
ほうが約12万人
も多い。

などなど、おもしろい、
ためになる話がいっぱい!

18歳、その
迷いも覚悟
も希望も。
すべてを
温かく
包みこむ
物語。

2021年本屋大賞
第3位



『犬がいた季節』(伊吹有喜)

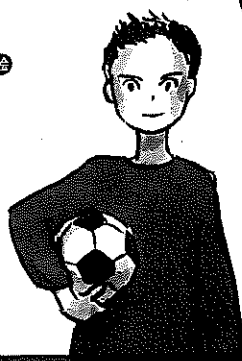
〈あらすじ〉1988年夏の終わりのある日、
高校に迷い込んだ一匹の白い犬。
「コーシロー」と名付けられ、以来、生徒とともに
学校生活を送ってゆく。初年度に卒業して
いった、あの優しい少女の面影をずっと胸
に秘めながら……。

すきっていわなき
だめ? (辻村深月・作)
今日マチ子・絵

(内容紹介)。「すきなかといないの?」
とみっちゃんにきかれた。わかんない。
ていったけど、ほんとうはこうくんが
すき。辻村深月と今日マチ子
が描く、みずみずしい「すき」の
風景。

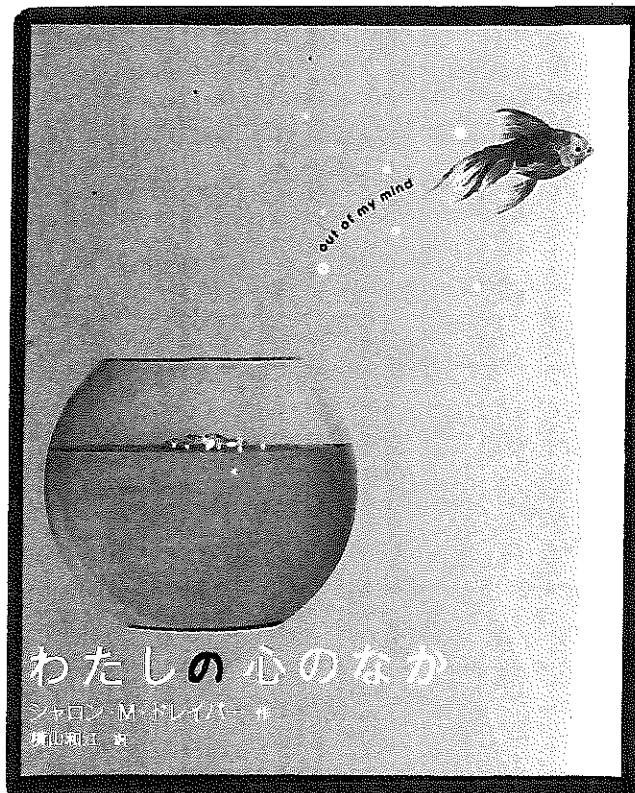
すきって
いわなきや
だめ?

辻村深月 作
今日マチ子 絵
瀬井朝世 監



子どもの頃に思っていた
疑問のこたえを、大人に
なって真剣に考えてみま
した。(辻村深月)
——♡——
たくさんの「すき」のかたち
をみつけられますように!
(今日マチ子)

生まれてから
ずっと、たった
ひとつの言葉
すら話した
ことがない。
わたしは、
もうすぐ
11歳になる。



わたしの心のなか

(シャロン・M・ドレイバー)

(解説) 主人公メロディは、病気のために話せず、自分のからだを満足に動かすこともできません。でもメロディにはやさしい気持ちや、考える力が秘められていました。メロディは、すばらしい機器に出会えました。それを使って、自分の考えや知識を伝えられるようになりました。移動を助けてくれる車イス。それを手助けしてくれる人との出会い。メロディの物語は、みんなにも「必ず、助けてくれるものがあり、信じてくれる人がいる」ことを伝えてくれています。(湯汲英史)

野菜の再生栽培 (大橋明子)

〈「はじめに」より〉。「再生栽培」とは、苗や種を購入せず、キッチンにある野菜の根やヘタなど、捨てるような部分を主に利用して収穫をめざす栽培方法。なぜハマったのか? 一番の理由は、「観察するおもしろさ」(本の中より)。たとえば、冬から始める野菜。「白菜」は芯から再生できる。「大根」「ニンジン」「カブ」などは、頭の部分を2センチくらい切って水につけると、新芽が出てくる。など、など、あとは、本を読んでお楽しみください!



明日のカルタ

(倉本美津留)

(本の中ものをぞいてみよう)

① つまずくよ。

つまずかないほうが オカシイよ。

夢に向かって進んでいるなら、つまずくのは当たり前。全然つまずかなかったら、それはたぶん進んでいないってこと。

② みんなのことばかり 見んな!

キミはキミらしくいるのが最高。自分の考えや好みをきちんと尊重して生きていこう。

倉本美津留

明日のカルタ

これは絵本

